

令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	家庭・被服	単位数	2単位	対象学年・組	3年A～F組 選択者
教科書 使用教材	なし	教科担任		長内 清美	

1. 目標

- ①被服製作の基礎・構成技法・被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得させる。
- ②長着の製作を通して、平面構成について知り日本の文化を知らせる。
- ③実習を通し、創意工夫やアイデアを生かし、生活を楽しめる態度を養う。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	オリエンテーション 衣服の構成 衣服の製作	人と衣服について 平面構成と立体構成 和服の基礎、じんべいの製作	●衣服の機能やデザイン、目的に応じた材料選びを考えさせる。 ●体に合った衣服の成り立ちを知る。 ●安全に配慮させる。 ●完成の喜びを味	トータルで 単位数 ×12 24時間
2 学期	小物の製作 袋物の製作 衣服の製作	自由課題①	●小物製作を通し縫製技術を習得させる。 ●習得した技術を使い着用できる立体構成の被服製作を行わせる。	トータルで 単位数 ×14 28時間
3 学期	衣服の製作	自由課題②	●習得した技術を使い着用できる立体構成の被服製作を行わせる。	トータルで 単位数 ×9 18時間

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

- ①実習を中心とするため積極的に取り組むこと
- ②実習を行う上では、安全に務め協力し合って作業を進めること
- ③目標を立て計画的に作業を進めること

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

関心・意欲・態度・・・準備を怠ることなく積極的に参加しているか
 思考・判断・・・着用目的に合った被服材料や構成技法などについてよく考えているか
 技能・表現・・・縫製技術を習得し、目的に沿って計画的に進めているか
 知識・理解・・・被服構成・技法・材料について基礎的な内容を理解しているか

上記について、作品の進捗状況や完成度また授業時間内で行うテスト等にて総合的に判断し評価を行う。